

各 位

上場会社名	株式会社 南陽
代表者	代表取締役社長 武内 英一郎
(コード番号)	7417)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長兼経営企画室長 篠崎 学
(TEL)	092-472-7331)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	450	500	330	51.82
今回修正予想(B)	14,700	710	780	510	80.09
増減額(B-A)	200	260	280	180	
増減率(%)	1.4	57.8	56.0	54.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(2020年3月期第2四半期)	16,230	902	933	579	90.94

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,500	1,300	1,350	850	133.49
今回修正予想(B)	31,500	1,650	1,750	1,100	172.75
増減額(B-A)	1,000	350	400	250	
増減率(%)	3.3	26.9	29.6	29.4	
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	34,319	2,116	2,181	1,387	217.96

2021年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	200	150	23.56
今回修正予想(B)	11,100	470	330	51.82
増減額(B-A)	1,100	270	180	
増減率(%)	11.0	135.0	120.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(2020年3月期第2四半期)	12,108	421	281	44.14

2021年3月期通期個別業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	500	330	51.82
今回修正予想(B)	24,000	850	550	86.37
増減額(B-A)	2,000	350	220	
増減率(%)	9.1	70.0	66.7	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	25,673	1,046	685	107.60

修正の理由

当第2四半期累計期間の業績(連結・個別)につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう活動自粛等の影響を勘案し業績予想を策定しておりましたが、建設機械事業において、熊本地区を中心に発生した令和2年7月豪雨の復旧工事への動きがはじまるとともに、産業機器事業においては、感染対策を講じた上で国内の客先訪問を徐々に再開したことに加え、ロボット関連や半導体等の一部の市場において回復の兆しが見えはじめたことにより、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

通期の業績(連結・個別)につきましては、現時点で新型コロナウイルスの収束に目途がたっておらず、不安定な状況は継続するものの、第2四半期累計期間の動向や市場によっては段階的な回復傾向が見られること等により、前回発表予想を上回る見込みであります。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績につきましては、今後、様々な状況によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年5月11日発表)	—	15.00	—	33.00	48.00
今回修正予想	—	15.00	—	44.00	59.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	15.00	—	51.00	66.00

前回予想における期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 7円00銭
 今回修正予想における期末配当金の内訳 普通配当 37円00銭 記念配当 7円00銭

修正の理由

当社は経営の合理化、効率化を推進し、収益力の向上、財務体質の強化をはかるとともに、安定配当を維持しながら連結純利益の状況に応じて配当額の向上に取り組むため、配当性向については連結純利益の30%程度を維持し、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

この度の業績予想修正に伴い、期末の配当予想について修正させていただきます。

なお、2021年3月期の期末配当金につきましては、上記方針に加え、創業70周年の記念として、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すため、期末配当において1株当たり7円の記念配当を実施させていただくこととしております。

以上